

# 令和 2 年度 社会貢献活動報告書

～たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛～



社会福祉法人ゆきわり会

# 目 次

内 容	ページ
ごあいさつ	1
(1) 活動の基本理念・基本方針	2
(2) 各事業所等の活動結果	3
参考資料1…「社会福祉法人の社会貢献活動」とは	4
参考資料2…社会貢献活動フロー図	5
結び	6
各事業所等の活動報告	
・SHINJO 社会貢献活動報告	7
・ゆきわり荘 社会貢献活動報告	8
・くりいむ 社会貢献活動報告	9
・はやて 社会貢献活動報告	10
・ねぶた 社会貢献活動報告	11
・はやぶさ 社会貢献活動報告	12
・ぎんざ 社会貢献活動報告	13
・しんあおもり 社会貢献活動報告	14
・研修委員会 社会貢献活動報告	15
・学生支援 社会貢献活動報告	16

～たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛～



～ごあいさつ～

平成28年3月31日改正社会福祉法より、「地域における公益的な取組」について責務規定が創設され、当法人も平成29年度より「社会福祉法人ゆきわり会社会貢献活動計画書～たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛～」を策定し、各施設・事業所ごとに社会貢献活動に取り組んでおります。

この改正法の目的とするところの「公益性や非営利性の徹底」「国民に対する説明責任」「地域社会に貢献する法人のあり方の徹底」の3つの主な目的について職員への周知を図りました。法施行から4年目ということもあり、主に青森市西部地区の新城地区と石江地区に、法人内各施設・事業所等で役割分担をし、地区社協等の関係者の皆様のご協力を仰ぎながら社会貢献活動に努めております。

令和2年度は、新型コロナウイルスの猛威により、計画とおりの活動はできませんでしたが、感染対策を講じながら各事業所ごとに取組をいたしました。

各事業所等の取組につきましては、後ほどご紹介させていただきます。

従来までも「地域交流」として夏祭りや地域奉仕活動としての清掃活動等、利用者・家族・役職員が一丸となってその役割を担って参りました。

その役割が功を奏し、障害の重い方々が地域の一員となって溶け込み、喜らせることができていることが一つの証かと存じます。

これからも社会福祉法人として期待される役割を果たすよう努め、その趣旨にしっかりと取り組んで参ります。なお、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

社会福祉法人ゆきわり会

理事長 関 良

## (1) 活動の基本理念・基本方針

社会福祉法人による社会貢献活動は、既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応することを社会福祉法人の本旨として、支援が必要な者の早期把握と具体的な解決を図ることを目的に実施するものです。

社会福祉法人ゆきわり会の社会貢献活動の「基本理念」「基本方針」は以下を掲げ、役職員が一丸となって取り組んで参ります。

### 【基本理念】

- ・ たすけ愛
- ・ ささえ愛
- ・ ちいき愛

### 【基本方針】

1. 社会福祉法人の本旨として、活動は「ゆきわり会」が主体的におこないます。
2. 制度や財源がない場合においても、支援を必要とする人のために活動を創造し、課題解決を図っていきます。
3. 「ゆきわり会」が培ってきた資源や専門性、ネットワークを活用し、対応が困難な課題を解決することを通じて、地域づくりを進めていきます。
4. 年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指し、地域の方々及び家族、職員と共に障害福祉に関わる普及啓発活動に努めます。
5. これらの活動は、「ゆきわり会」が支えています。

## (2) 各事業所等の活動結果

令和2年度は前年度の活動を踏まえ、地域の方々等へ「社会貢献活動」の制度の普及啓発をしながら、下記のとおり取り組んで参りました。

詳細につきましては、後ほどご紹介いたします。

No.	活動	内容	主担当
①	総合相談 (トータルサポート)	制度の狭間や生活困窮などの様々な課題を抱える者に対し、各関係機関や住民(新城地区・石江地区)と連携し、既存の制度や機関に適切に繋ぎ、総合的な相談支援を行います。	(児童) ・認定こども園SHINJO  (児童以外) ・相談支援事業所ぎんざ
②	経済的援助 (ライフサポート)	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、援助の実施により一定の生活の安定が見込める場合に、経済的援助を低額な料金設定を行います。また、「奨学金返還貸与制度」や「奨学金返還支援金貸与制度」として、奨学金についても法人独自の制度により援助いたします。	・法人本部
③	食料等の提供 (フードサポート)	新城地区社協・石江地区社協と協同で両地区在住の高齢者の集う機会に、定期的(年2回程度)に弁当を提供し、地域の高齢者の親睦を図る機会を提供します。	(新城地区) ・ゆきわり荘  (石江地区) ・はやぶさ
④	地域奉仕活動 (コミュニティーサポート)	既存の制度やサービスでは対応できない新たな課題に対し、「ゆきわり会」が有する資源を活用し、必要な支援を行います。また、地域に密着した地域奉仕活動(ゴミ拾い・除雪等)を積極的に行います。	(児童) ・認定こども園SHINJO  (児童以外) ・ゆきわり荘 くりいむ、はやて、 ねぶた、しんあおもり
⑤	保育・教育・障害 普及啓発活動	障害福祉に関わる研修会を開催し、地域の方々と家族、職員が共に学び専門知識と支援技法を習得します。また、地区市民センターに保育教諭を派遣し、ふれあい遊びや読み聞かせを行います。	(児童) ・認定こども園SHINJO  (児童以外) ・ゆきわり会研修委員会

## 「社会福祉法人の社会貢献活動」とは

### 《求められる背景》

#### ◆ 新しいニーズである「制度の狭間」の問題

これまでの社会福祉制度は、子ども・障害者・高齢者といった対象者に合わせ分野ごとに整備され発展してきました。一方で、少子高齢化や人口減少、家族形態の変容、さらには地域における人間関係の希薄化・孤立化・生活保護世帯や非正規雇用の増加などによる生活の不安定化などを背景として、深刻なニーズが生じています。

これらの顕在化している課題は、既存の制度が変容・成熟が進んできた一方で、ニーズの多様化や複雑化を伴って「制度の狭間」の問題として浮彫になっています。

#### ◆ 社会福祉法人の本旨と役割

社会福祉法人は、昭和26年福祉事業を担う法人として社会福祉事業法の制定とともに誕生し、旧民法に規定する公益法人の特別法人として制度化されました。

全国に約2万か所ある社会福祉法人は、我が国の社会福祉事業を中心的に支え、制度の狭間のニーズや生活課題に対して具体的な取組を行ってきたことも社会福祉法人の歴史でもあります。

社会福祉制度が公的な補助や助成を伴って充実し、社会福祉法人が社会福祉事業以外の制度外の取り組みを行うことに制約がある中においても、それぞれの地域の課題に積極的に向き合って地道に実践を継続してきました。

社会福祉法人の先達は、目の前で支援を必要としている人に温かい手を差し出し、その「制度の狭間」の課題を解決する実践に汗を流してきました。こうした地道な取組や手法がそれぞれの地域で広がり、やがて制度化されてきたことが、我が国の社会福祉の歩みとなってきました。

社会福祉法人が、既存の制度では対応が困難なニーズや現代社会の中で深刻化している生活課題の解決に向けて積極的に取り組むことは、社会福祉法人が原点回帰するということであり、「制度の狭間」の課題に果敢に取り組むことは、社会福祉法人の本旨であります。

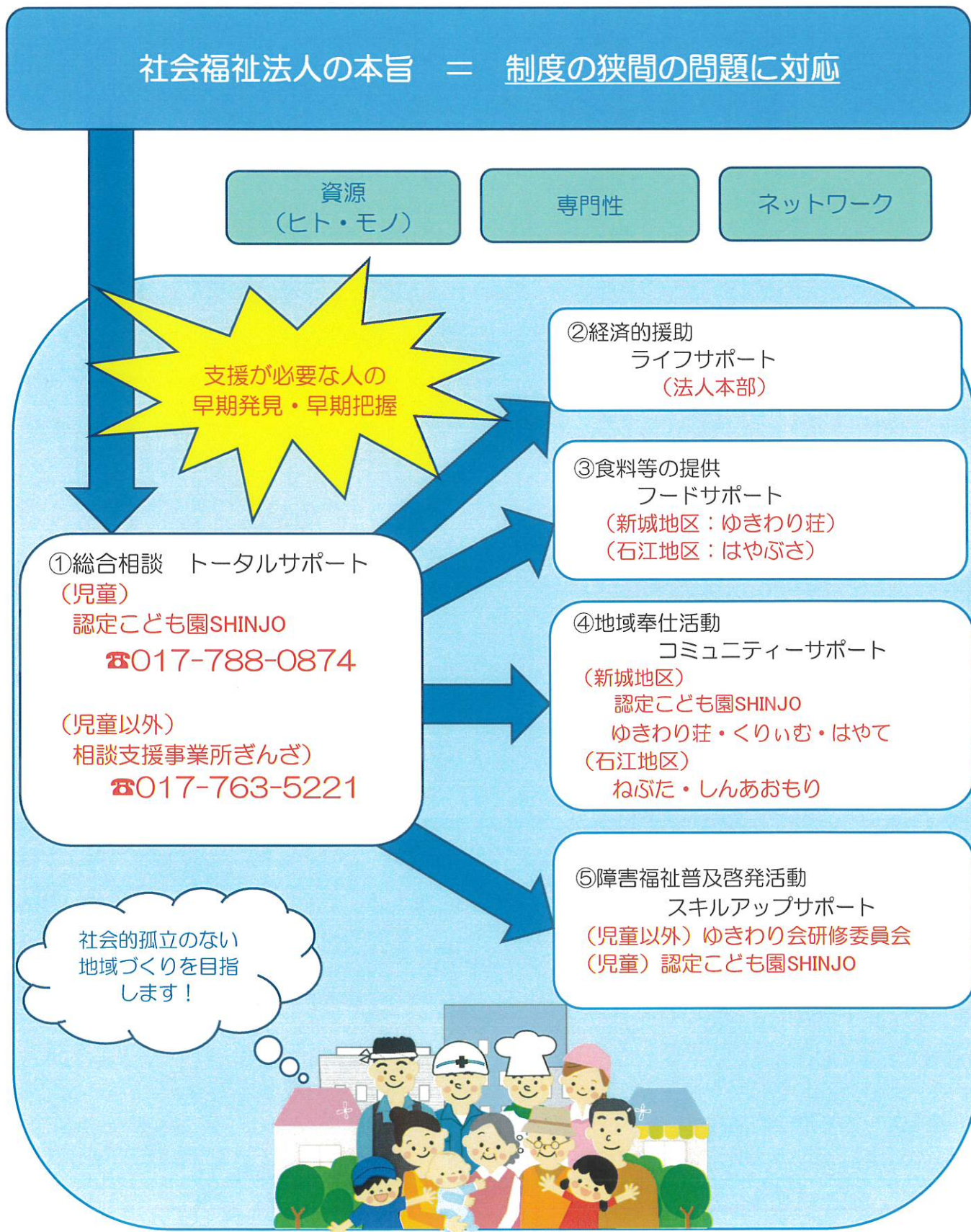
社会福祉法人が、その本来の役割に長年取り組んできた一方で、改正社会福祉法では「地域における公益的取り組みを実施する責務」を規定化しました。福祉サービスの供給主体が株式会社やNPOなど多様となった現在、社会福祉法人には、積極的かつ可視的に社会に貢献することが求められます。

#### ◆ 地域の課題を解決する

「社会福祉法人ゆきわり会」が、地域の関わりの中で、これまで培ってきた信頼とネットワークを活かし、また地域に根ざした教育・保育サービス及び障害福祉サービスの専門性を活かし、地域の課題解決に向け貢献活動として取り組んで参ります。

## 社会貢献活動フロー図

当法人の活動フロー図については、以下のとおりです。「総合相談トータルサポート」を窓口としますが、随時、柔軟に対応して参ります。



## ～ 結 び ～

私たち「社会福祉法人ゆきわり会」の役職員一同は、社会貢献活動の「基本理念」  
として「たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛」を掲げ、五つの「基本方針」に基づき、  
地域の課題に柔軟かつ迅速に対応できるよう、また地域の皆様及び関係者の皆様  
のご期待に添えるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻りの程、よろしくお願い申  
し上げます。

令和3年3月

社会福祉法人ゆきわり会  
役職員一同



# 各事業所等の活動報告



社会福祉法人ゆきわり会



令和2年度 認定こども園SHINJO 事業報告書

社会貢献活動		リーダー名		土岐美穂								
所属職員名	竹内玲子	岩谷和佳菜			岩崎千恵子							
<p>【活動目的】・地域にいる未就園児と保護者を対象に子ども同士、大人同士（父・母等保護者）の交流の場及び、保育教諭と子育て相談の場となる。また、保護者の急用や、リフレッシュでの一時預かり利用が出来る事への周知に繋がって行く。地域の公共の場を利用したり、施設との交流を通し子どもたち及び、職員が、地域の一員であることを自覚する場となる。</p>												
【展開方法・実施内容】							【画像】					
<p>● こどもえんであそぼう</p> <p>ホームページや地域の回覧板、西部市民センターに活動予定日のチラシを配布したり掲示し活動している。季節ごとにあった遊び（リズム遊び・製作活動・身長体重測定等）を行う。参加した保護者に子育てをして日頃感じている事など会話の中で聞き、相談の場合はアドバイスをしていく。</p>							<p>付 出 今 は 来 年 あ ま 度 り せ は ま ん 実 せ で 施 ん し し 。 た す の る 写 こ 真 と 添 が</p>					
<p>● 西部市民センターへの保育教諭派遣</p> <p>月に一度の西部市民センターでの「おやこであそぼう」へ参加し、園で行っている触れ合い遊びや製作、読み聞かせをおこなう。</p>												
【活動時間】												
午前						午後						
10:00	こどもえんであそぼう					:						
10:50	おやこであそぼう					:						
:						:						
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子ども園であそぼう	20	18	15	20	17	21	19		21	18	15	
おやこであそぼう	17	24	19	16	28	24	23	22	17	22	19	
今年度の評価	<p>年間の予定として計画をしていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の市中感染等を考慮し未就園児と保護者をこども園に招くことはできなかった。また、西部市民センターで行われる“おやこであそぼう”も中止になり、活動が出来ず残念だった。</p>					課題・反省点等	<p>園を開放しての“こどもえんであそぼう”であるため、感染症などが流行した場合は延期や中止になるが、感染症などに左右されない社会貢献をも考えて行かなければならないと感じた。</p>					

# 令和2年度 社会貢献活動報告書

事業所名	ゆきわり荘	リーダー名	本谷 謙									
所属職員名	山内愛子	木村弥寿子	江良一也									
【活動目的】												
社会福祉法人ゆきわり会で、これまで培ってきた信頼感とネットワークを活用し社会的孤立のない地域づくりを目指します。年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指し、専門性を活かした地域の課題解決に向け貢献活動として取り組んで参ります。												
【展開方法・実施内容】				【画像】								
○ 一人暮らし高齢者への食事提供（フードサポート） 場所 西部市民センター2階 調理室 会議室 期間 4月（第2火曜日）・9月（第2火曜日）（年2回） 時間 10:00～13:30 昼食11:45～ 新城地区社会福祉協議会と協同で新城地区にお住いの一人暮らし高齢者（梓の会会員様）への食事提供を実施します。				コロナ感染予防の為、 実施出来ませんでしたので、 画像はありません。								
○ 緑ヶ丘町会内の草刈り 場所 緑ヶ丘団地入口・歩道・バス停・川沿い 期間 5月～9月 平日 時間 10:00～14:30 歩道等の環境整備												
○ 緑ヶ丘町会内の歩道の除雪 場所 緑ヶ丘町会通学路 期間 12月から3月 時間 10:00～14:30 除雪機にて歩道を確保												
【活動時間】												
午前				午後								
10:00	緑ヶ丘町会歩道の除雪			12:00	一人暮らし高齢者への食事提供							
10:00	緑ヶ丘町会内の草刈り			:								
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
食事提供	○					○						
歩道等の草刈り				○	○	○						
歩道の除雪											○	○
今年度の評価	新型コロナウイルス感染対策の為、西部市民センターの使用が出来ず、新城地区にお住まいの一人暮らしの高齢者のみなさまへの食事提供については、実施できませんでした。来年度、コロナ禍の動向を注視し、関係者と開催に向けて検討して参ります。 緑ヶ丘町会内の除雪については、10年ぶりの大雪だったため、敷地内の除雪等が優先しつつ、概ね予定通り実施いたしました。歩道の草刈りについても、予定通り実施されました。					課題・反省点等	今年度は、新型コロナウイルス感染症という未知のウイルス対策から始まりました。感染予防の観点から、西部市民センターの使用も制限され、高齢者への食事提供については、実施出来ませんでした。来年度、落ち着いたら実施したいと思います。 除雪については、10年ぶりの大雪ということで、少ない回数しかできませんでした。 歩道の草刈りについては、予定通りできていた。今年度の反省点を踏まえながら、令和3年度に取り組んでまいります。					

## 令和2年度 社会貢献活動報告書


事業所名等	くりいむ	リーダー名	鎌田真由美										
所属職員名	北山彩姫	吉田透	各班リーダー										
【活動目的】													
<p>地域のリサイクル回収等により、安心・安全に暮らせるよう見守ります。</p> <p>また、班活動の散策にて、地域の歩道や公園等のゴミ拾いを行い、地域の環境美化に努めます。地域のイベントにも積極的に参加し、イベント成功に貢献します。</p>													
【展開方法・実施内容】				【画像】									
<p>1 ワークマン班…地域のリサイクル回収（空き缶、牛乳パック等）</p> <p style="margin-left: 20px;">①地域への周知      ②回収日時の設定</p> <p>2 各班活動…地域散策時に、歩道及び公園等のゴミ拾い</p> <p style="margin-left: 20px;">①各班の日課活動にて実施      ※冬季除く。</p> <p>3 地域のイベント参加（担当：北山彩姫、竹内富志）</p> <p style="margin-left: 20px;">①かかしロード280への参加（かかし作り）</p> <p style="margin-left: 20px;">②青森市西部市民センター 雪をたのしむ集い（雪像作り）</p> <p style="margin-left: 20px;">③その他、随時参加</p>				 									
【活動時間】      9:00-16:00													
午前				午後									
9:45	リサイクル回収又はゴミ拾い等			:									
10:45				:									
未定	イベント参加は随時			:									
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
空き缶回収	毎月1回程度												
ゴミ拾い	各班の活動内にて実施								-	-	-	-	-
イベント参加	随時			かかし製作		かかし展示	随時				雪像づくり	-	
今年度の評価	<p>今年度のかかしロードでのかかし制作をし展示したところ受賞となり利用者さんは喜んでいました。ゴミ拾いに関してはコロナウイルス感染予防対策の為一回しか出来ていない。実施した際には感染対策、熱中症対策を行い実施している。市民センターでの雪像作りに関しては今年度は自粛している。</p>				課題・反省点等	<p>新型コロナウイルスの動向を見据え、社会貢献活動を活発に行い、地域環境の美化に努めて参ります。かかしロードに関しては地域との交流を目指し、来年度も受賞が出来るような制作をしていきたい。空き缶回収も出来るように体制を整えていく。課題として正しい感染情報を集める事を意識する。</p>							

## 令和2年度 社会貢献活動報告書

事業所名等	はやて	リーダー名	櫛引 由美									
所属職員名	小林 寿江	—	—									
<b>【活動目的】</b> 地域に住む高齢者の心の拠り所となり、高齢者同士の交流の場や、楽しみの場を提供します。												
<b>【展開方法・実施内容】</b>		<b>【画像】</b>										
<b>【活動内容】</b> ところの縁側づくり事業 GHの場所の提供（食堂・リビング）  <b>【活動地域】</b> 新城地区  <b>【活動の対象者】</b> 地域に住む高齢者  <b>【活動の時期】</b> 4月～12月  <b>【活動時間】</b> 9：00～16：00		今年度は活動を実施する事が出来ませんでしたので、写真添付はありません。										
<b>【活動時間】 9：00～16：00</b>												
午前		午後										
：		：										
：		：										
：		：										
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
場の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
今年度の評価	・ところの縁側づくり事業として、青森市高齢者支援課、社会福祉協議会に登録されているが、問い合わせがなかった為、実施されていない。					課題・反省点等	・ところの縁側事業として、GHを活動の場として提供する登録されているものの、問い合わせがなかった。					

社会貢献活動		リーダー名		天内恵美									
所属職員名	中山 穰			中村拓臣									
【活動目的】													
ゴミ拾いを通して地域の環境衛生と住民との交流を図っていく。													
【展開方法・実施内容】							【画像】						
【活動内容】 事業所周辺のゴミ拾い 【活動地域】 石江地区 【活動時期】 年1回（6月） 月1回 【活動実施者】 ねぶた職員							 						
【活動時間】 10時 00分 ~ 11時 00分													
午前							午後						
9:30	ゴミ拾い開始						:						
10:30	ゴミ拾い終了						:						
:							:						
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ゴミ拾い			○										
今年度の評価	計画は年4回であったが新型コロナウイルス蔓延防止対策でグループホーム支援が何度かあったのと外活動の自粛もあった為、6月に1回しか行うことが出来なかった。  利用者6名、職員は2名程度で参加し、怪我や事故なく終えることが出来た。					課題・反省点等	新型コロナウイルスが落ちるいたら活動を再開していきたい。 今後再開出来たら、ゴミを拾う範囲を増やしていき、コースを変えながら楽しくゴミ拾いが行えるようにしていきたい。						

社会貢献活動		リーダー名		橘 和彦									
所属職員名	西巻 悟志			新山 有紀			宮川 康之 山本ひとみ						
【活動目的】 地域の社会福祉協議会が実施している、地域の一人暮らしの高齢者（概ね70歳以上）の方を対象とした活動（福の会）に参加し、高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域福祉の向上に手助けできるよう、食事の無料奉仕を行い高齢者の活動を活性化することを目的とする。													
【展開方法・実施内容】							【画像】						
<p>【活動内容】 石江地区の社会福祉協議会で実施している、高齢者（主に70歳以上の一人暮らし）を対象とした「福の会」の活動に参加し、活動日に弁当の無料提供を行い、高齢者の方の健全生活への手助けをする。</p> <p>【活動実施者】 はやぶさ・しんあおもり・ぎんざ職員                  【活動場所】 青森市民センター 石江分館                  【活動の対象者】 70歳以上の一人暮らしの高齢者                  【活動協力者】 石江地区社会福祉協議会                  【活動時期】 年2回（9月・2月の年2回予定）                  【その他】 実施の都度参加者人数を確認</p>							 						
【活動時間】													
午前						午後							
10:30	会場作りへの協力					11:50	会食開始						
11:30	弁当・お茶等の準備と配布					12:40	参加者見送り						
:						12:50	会場片付け・ゴミ等の回収						
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1回目提供日						14日							
2回目提供日												15日	
今年度の評価	今年度の活動は、9月は予定通り実施でき、参加者からまたお願いしますとの声が聞かれている。ただ、2回目の3月活動については、コロナウイルス感染症の影響により、感染予防の為集まっていたの会食を中止し対象高齢者の自宅に、地区民生委員の協力も得て、弁当を配布するだけの活動となり、コミュニケーションは図れなかった。					課題・反省点等	9月の活動においては、弁当内容にデザートらしき果物類がなかったので、少し物足りなく感じた。また、3月の活動についてはコロナ禍の活動となり、高齢者様と交流が図れず残念であった。新年度も2回の活動計画をたてて、親交を図りたい。						

社会貢献活動		リーダー名		橘 和彦								
所属職員名	木村 直人	細川 真梨子										
【活動目的】												
地域の社会福祉協議会が実施している、地域の一人暮らしの高齢者（概ね70歳以上）の方を対象とした活動（福の会）に参加し、高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域福祉の向上に手助けできるよう、食事の無料奉仕を行い高齢者の活動を活性化することを目的とする。												
【展開方法・実施内容】				【画像】								
<p>【活動内容】</p> <p>石江地区の社会福祉協議会で実施している、高齢者（主に70歳以上の一人暮らし）を対象とした「福の会」の活動に参加し、活動日に弁当の無料提供を行い、高齢者の方の健全生活への手助けをする。</p> <p>【活動実施者】 はやぶさ・しんあおもり・ぎんざ職員</p> <p>【活動場所】 青森市民センター 石江分館</p> <p>【活動の対象者】 70歳以上の一人暮らしの高齢者</p> <p>【活動協力者】 石江地区社会福祉協議会</p> <p>【活動時期】 年2回（9月・2月の年2回予定）</p> <p>【その他】 実施の都度参加者人数を確認</p>												
【活動時間】												
午前			午後									
10:30	会場作りへの協力		11:50	会食開始								
11:30	弁当・お茶等の準備と配布		12:40	参加者見送り								
:			12:50	会場片付け・ゴミ等の回収								
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回目提供日						14日						
2回目提供日												15日
今年度の評価	今年度の活動は、9月は予定通り実施でき、参加者からまたお願いしますとの声が聞かれている。ただ、2回目の3月活動については、コロナウイルス感染症の影響により、感染予防の為集まったの会食を中止し対象高齢者の自宅に、地区民生委員の協力も得て、弁当を配布するだけの活動となり、コミュニケーションは図れなかった。					課題・反省点等	9月の活動においては、弁当内容にデザートらしき果物類がなかったので、少し物足り無く感じた。また、3月の活動についてはコロナ禍の活動となり、高齢者様と交流が図れず残念であった。新年度も2回の活動計画をたてて、親交を図りたい。					

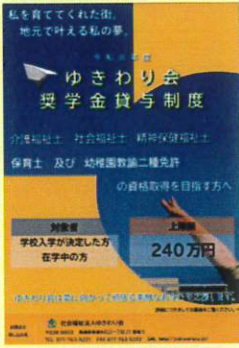



社会貢献活動		リーダー名	関 恵									
所属職員名	増川幸太	江良優希										
<p>【活動目的】</p> <p>地域の社会福祉協議会が実施している、地域の一人暮らしの高齢者（概ね70歳以上）の方を対象とした活動（福の会）に参加し、高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域福祉の向上に手助けできるよう、食事の無料奉仕を行い高齢者の活動を活性化することを目的とする。</p>												
【展開方法・実施内容】							【画像】					
<p>【活動内容】</p> <p>石江地区の社会福祉協議会で実施している、高齢者（主に70歳以上の一人暮らし）を対象とした「福の会」の活動に参加し、活動日に弁当の無料提供を行い、高齢者の方の健全生活への手助けをする。</p> <p>【活動実施者】 はやぶさ・しんあおもり・ぎんざ職員</p> <p>【活動場所】 青森市民センター 石江分館</p> <p>【活動の対象者】 70歳以上の一人暮らしの高齢者</p> <p>【活動協力者】 石江地区社会福祉協議会</p> <p>【活動時期】 年2回（9月・2月の年2回予定）</p> <p>【その他】 実施の都度参加者人数を確認</p>												
【活動時間】												
午前						午後						
10:30	会場作りへの協力					11:50	会食開始					
11:30	弁当・お茶等の準備と配布					12:40	参加者見送り					
:						12:50	会場片付け・ゴミ等の回収					
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回目提供日						14日						
2回目提供日												15日
今年度の評価	<p>今年度の活動は、9月は予定通り実施でき、参加者からまたお願いしますとの声が聞かれている。ただ、2回目の3月活動については、コロナウイルス感染症の影響により、感染予防の為集まったの会食を中止し対象高齢者の自宅に、地区民生委員の協力も得て、弁当を配布するだけの活動となり、コミュニケーションは図れなかった。</p>					課題・反省点等	<p>9月の活動においては、弁当内容にデザートらしき果物類がなかったので、少し物足り無く感じた。また、3月の活動についてはコロナ禍の活動となり、高齢者様と交流が図れず残念であった。新年度も2回の活動計画をたてて、親交を図りたい。</p>					

# 令和2年度 社会貢献活動報告書

事業所名等	法人本部	リーダー名	研修委員会（丸本委員長）									
所属職員名	法人本部及び各事業所の研修委員											
【活動目的】												
障害福祉に関わる研修会を開催し、地域の方々と家族、職員が共に学び知識と支援方法を習得する。併せて、共生社会の実現を目指し、障害福祉の普及啓発に努める。												
【展開方法・実施内容】		【画像】										
【参加者】 コロナ禍により法人職員に限定（上限80名） ゆきわり会職員（役職者、生活支援員、世話人、保育教諭等） 【開催日時】 令和2年8月27日（木）9時30分～10時30分 【会場】 ゆきわり荘食堂 【内容】 1. 「精神科の薬の効能と観察のポイント」講演50分程度 2. 質疑応答 5分 講師：青森県立つくしが丘病院 看護部 精神科認定看護師 佐藤 智康氏  ※コロナ禍により、保護者及び地域住民等、外部の方の参加はなしとし、感染対策を講じて開催しました。 ※一部のみ、短時間の開催としました。		 										
【開催時間】												
午前		午後										
8:30～	会場準備（音響・椅子配置）											
9:25～	日程説明・事務連絡等											
9:30～	研修会開始（講演・意見交換）											
～10:30	終了、後片付け											
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修会					○							
今年度の評価	感染防止対策を徹底し、コロナ禍ではありましたが、無事、開催することができました。内容についても充実しており、参加者からも好評でした。感染対策により、外部の方の参加ができなかったことが残念でした。					課題・反省点等	新型コロナウイルスの動向を注視し、オンライン等の体制整備を講じつつ、地域に向けて共生社会の実現を目指し、障害福祉の普及啓発を図ることが必要だと思われます。					

# 令和2年度 社会貢献活動報告書

事業所名等	法人本部	リーダー名	経営人事・総務部長 古谷 宏幸									
所属職員名	総務課長 蒔苗 隆次	—	—									
【活動目的】												
「①社会福祉法人ゆきわり会奨学金貸与規程」及び「②社会福祉法人ゆきわり会奨学金返還支援金貸与規程」に基づき、福祉就労を目指す学生等に対して入学金及び授業料について、後方支援をし、福祉専門職とマンパワーの確保、県外への人口流出防止及び職場定着に努めることを目的とする。												
【展開方法・実施内容】				【リーフレット画像】								
<p><b>①奨学金貸与（無利息）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：入学決定者又は在学者</li> <li>・対象資格：社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士 又は保育士及び幼稚園教諭二種</li> <li>・学校等への周知：上記対象資格取得が可能な大学、短期大学及び専門学校等を訪問し、リクルートガイド及び法人ホームページ等により学生等への周知と利用促進を図る。（県内学校等）</li> <li>・申請・契約：随時受付し、申請手続き及び契約書の締結を行う。</li> </ul>												
<p><b>②奨学金返還支援金貸与（無利息）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：在学者</li> <li>・対象資格：社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士 又は保育士及び幼稚園教諭二種</li> <li>・学校等への周知：上記対象資格取得が可能な大学、短期大学及び専門学校等を訪問し、リクルートガイド及び法人ホームページ等により学生等への周知と利用促進を図る。（県内学校等）</li> <li>・申請・契約：随時受付、申請手続き及び契約書の締結を行う。</li> </ul>												
【活動時期・時間等】												
午前				午後								
※ 随時受付及び学校等の訪問（コロナ禍によりオンライン参加含む）を実施。												
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校等の周知		○				○			○		○	
その他の周知					○							
受付												
申請手続き												
契約締結												
貸与												
今年度の評価	昨年度末に奨学金制度を導入して以降、最初の制度利用者となる新規学卒者2名を令和3年4月に採用することができた（障害施設1名、認定こども園1名採用）。					課題・反省点等	学生に対する周知活動を積極的に行い、より多くの学生に制度を利用してもらえるよう取り組むこと、貸与までの事務手続きを適切に行うよう努めていくこと。					